

■川本幸民 蘭方医, 科学者。西洋理化学の導入に尽力, 化学・電気・蛋白等の訳語も創出, 日本の科学史に画期。

かわもとこうみん

・ ・ ・ ・ ・ 1810= 摂津国三田城下足軽町で, 代々藩医で隠れキリシタンともいわれる川本周安の末子三男に生まれる。
幼名敬蔵。藩主九鬼隆国。

水野忠成老中1818= 8歳:

群書類従完結1819= 9歳: 父が急逝するも, 長兄が親代わりとなり, 藩校造士館に入学するや,

頭角を表わし,

さらに, 長兄の指示で,

日本外史・ ・ 1827=17歳: 播磨国福田の漢方医村上(宇野)良八の私塾に入門して修業。

シボム事件・ 1828=18歳: 修行中に, 師の所蔵する「日本逸史」全十二巻を書写するほど励み, また蘭方の実践性を知る。

シボム追放・ 1829=19歳: 藩主の命で参勤交代に従い江戸に出る。直後に長兄が急逝するも, 足立長雋に入門して蘭方医学を学び,

富籤流行・ ・ 1830=20歳: 川本家の継嗣を拒否する一方, 藩主の学費支給という幸運で, 長雋に奨められ, 坪井信道に蘭学を学び, 同門の緒方洪庵・青木周弼と並ぶほどの才覚を発揮,

天保大飢饉始1833=23歳: 坪井塾を出て帰藩。再び出府し, 松平定信下屋敷で処方, 続いて藩主の腫物を治療。

高島砲術・ ・ 1834=24歳: 三田藩医に迎えられたが, 川本本家と別に一家を起すことを認められ,

滑稽+人情本 1835=25歳: 母が死去。江戸芝露月町に医を開業し, 青地林宗の三女秀子と結婚。

・ ・ ・ ・ ・ 1836=26歳: 長男熊之助誕生。藩士仲間との間に刃傷事件を起し, 藩邸に幽閉後, 謹慎処分で相州浦賀に蟄居。

大塩平八郎乱1837=27歳:

この間, 義父林宗の業績を研究,

蚕社の獄・ ・ 1839=29歳: 次男清二郎(のちの清一)誕生。

勸進帳初演・ 1840=30歳:

天保改革始・ 1841=31歳: 長男が病死。浦賀奉行池田頼方の尽力で赦免され, 江戸に帰り, 桶町に住む。

順天堂始・ ・ 1843=33歳: 芝浦に転居。

阿部正弘首座1845=35歳: 大火で居宅が類焼, 小舟町に移住。薩摩藩主島津斉彬の使者が蘭書翻訳依頼で来訪, 斉彬の知遇を得る。

孝明天皇・ ・ 1846=36歳: 再び大火で類焼し, 八丁堀に移住。薩摩藩士松木弘安(寺島宗則)が入門し, 愛弟子となって行く。

・ ・ ・ ・ ・ 1848=38歳: 坪井信道が死去。マッチを試作。

理学に精通し, 岳父林宗の訳著「気海観瀾」の内容が簡略に過ぎると増訳を行い,

国定忠治疎・ 1850=40歳: 緒方洪庵から「扶氏遺訓御伺書」を贈られる。

尊徳報徳論・ 1851=41歳: *天文・力学・電気・化学など広範な内容の「気海観瀾広義」刊行開始。銀板光画による写真術に成功。

万次郎帰国・ 1852=42歳: 九鬼隆国が死去すると, 藩から排斥されるようになる。

ペリー来航・ 1853=43歳: 自宅の庭でビールを試醸。薩摩学府学頭に迎えられ, 写真機・伝信機・蒸気船・マッチ・気球等を講義,

開国開港・ ・ 1854=44歳: 門弟が筆録した「遠西奇器述」第一輯上梓。青木周弼送別会出席。橋本左内が入門。

安政大地震・ 1855=45歳: 斉彬に命じられ, 電信に関する蘭書を翻訳。

松下村塾・ ・ 1856=46歳: 新設された蕃書調所教授手伝出役となる。

蕃書調所・ ・ 1857=47歳: 橋本左内が再入門。教授職並に。三田藩主交代を機に, 大金を三田藩に寄付した上, 薩摩藩籍となるも,

五ヶ国条約・ 1858=48歳: 斉彬が急逝。大火で自宅焼失し, 木挽町へ転居。洪庵から「扶氏経験遺訓」を贈られる。*「気海観瀾広義」全15巻を完結, 本格的な物理学入門書となった。

安政の大獄・ 1859=49歳: 蕃書調所に戻り, 教授に進む。「遠西奇器述」第二輯上梓。

桜田門外変・ 1860=50歳: 「化学書」出版許可。調所内に精練方が新設され兼任教授となる。

遣欧使節・ ・ 1861=51歳: 続いて宇田川榕庵「舍密開宗」より一段と近代的で代表作となる「化学新書」を完成するも不許可。

生麦事件・ ・ 1862=52歳: *洋書調所教授職にかわり, 理化学を担当。将軍家茂に目通り許可されて幕臣に列する。

禁門の変・ 1864=54歳: 江戸で松木弘安と再会。次男清二郎が開成所教授手伝となり, 結婚。「アルムストロン新砲図説」刊行。

薩摩藩士密航1865=55歳: 清二郎に長女誕生。開成所教授筆頭となる。精練方は化学方となる。「螺旋機汽説」「暴風説」などを幕府に献上し, 黄金大判二枚下賜。

薩長同盟・ ・ 1866=56歳: 清二郎が開成所英学教授手伝に就任。スナイドル銃購入を建築。伺書を提出し有髪を許可される。

明治維新・ ・ 1868=58歳: *維新で辞職し帰郷。蘭英学の塾を開き, 藩の子弟の教導にあたる。

戊辰戦争終・ 1869=59歳: 清二郎に長男誕生。

初の日刊新聞1870=60歳: 清一(清二郎)の太政官出仕で, 塾を閉じ東京に移住。「化学新書」が加除補筆されて「化学通」となり,

廃藩置県・ ・ 1871=61歳: 遺言書を書き, 神田の自宅で没後, 「化学読本」となった。